日本各階層の絶讚！
大百科事典親版所持者の一般感想

最も能率的な勉強
北海道旭川中學校教諭　村上久吉

中學一年生の質問に
千葉縣野田高等女學校長　鈴木寅之助

頭腦中及ぶものなし

宮中三殿で紀元節祭

內外臣僚を召され豐明殿で御賀宴

【東京電話】皇紀二千五百九十七年輝く肇國の歷史に輝く紀元節の十一日、この日宮中に於ては天皇陛下御親祭の下に三殿で嚴かなる御祭典を、正午よりは內外の臣僚七百を召され豐明殿で御賀宴を行はせられた

この佳き日秩父宮同妃兩殿下を初め奉り各皇族方、林首相、各國務大臣、平沼樞府議長外親任官、勅任官、同待遇者は大禮服正裝にて午前八時相前後して參內 天皇陛下には賢所御先導申上げ親しく賢所內陣に進ませ給ひ神威に嚮く御鈴のうちに恭しく御告文を奏させられて御親拜、ついで皇后陛下、各皇族殿下御拜禮、諸員拜禮、午前十一時御祭典を終へさせられた、又この日橿原神宮に勅使として大賜祭典を御差遣御祭典を行はしめられた

次で正午より豐明殿の賀宴に御召の光榮に浴した林首相以下文武顯官各國大公使は午前十一時半相次で參入 天皇陛下には陸軍式御正裝にて、各皇族殿下、松平宮相、百武侍從長、松平式部長官を隨へさせられ豐明殿に出御、玉座に着かせ給ひ新任官禮裝に玉音朗々と畏くも優渥なる勅語を賜ひ林首相群臣を代表し、ベルギー大使ベツソンピエール男は外交團を代表して恭しく奉答文を奉り、次で雅樂の樂の音事を偲び奉る久米舞の響の音につれて御陪宴 陛下には親しく玉杯を傾けさせられ、諸員にも酒饌を賜ひ、午後一時頃御祭宴を終へさせられ 天機御麗しく入御あらせられた

勅語

紀元ノ佳辰ニ當リ祝宴ヲ開キ各國代表者並諸大臣等ト此觀ヲ偕ニスルハ朕ノ欣悦スル所ナリ茲ニ友邦ノ元首ノ健康ヲ祝シ併セテ交際ノ益々親密ナラムコトヲ望ム

總理大臣奉答文

【東京電話】茲ニ紀元ノ佳節ニ方リ群臣ヲ御宴ニ召サレ且ツ優渥ナル勅語ヲ賜フ臣等感激ノ至リニ堪ヘス臣銑十郎群臣ニ代リ聖恩ノ厚キヲ謝シ謹テ寶祚ノ無窮ヲ祈リ奉ル

白國大使奉答文

【東京電話】

陛下

紀元ノ佳節ニ方リ外交團ヲ代表シ本使等ノ至深ノ敬意ヲ陛下ニ致シ且聖躬皇室ノ悠久ナル隆昌並陛下、皇后陛下、皇太后陛下及皇族各殿下ノ彌榮ヲ懇禱スルハ本使ノ光榮トスル所ナリ

偉大日本帝國ト本使等カ茲ニ代表スル各國トヲ結合スル親密ナル友誼ノ益々鞏固ナランコトヲ希望セラルル聖慮ニ對シ本使等ノ元首ニ於テモ亦衷心ヨリ 陛下ト其意ヲ同ウセラルヘキコトハ本使等ノ確信スル所ナリ

學藝の功績者に 文化勲章を賜ふ

佳き日勅令公布さる

【東京電話】政府は廣田內閣當時よりの懸案となつてゐた科學藝術その他國家の文化的方面に功績ある者に對しその勲績を表彰すべく文化勲章制定につき賞勲局と協議を進めてゐたが漸く成案を得るに至つたので上奏御裁可を仰ぎ二月十一日の紀元の佳節をトして左の如く公布した

勅令

朕文化勲章令ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

昭和十二年二月十一日 內閣總理大臣 林 銑十郎

勅令第九號

文化勲章令

文化勲章ハ文化ノ發達ニ關シ勲績卓絶ナルモノニ之ヲ賜フ

附則 本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

文化勲章製式

章 金橘花、徑 六・六センチ、花 白色琺瑯七寶、蕾 間長、金地 濃緑色七寶、曲玉 白色七寶、地 赤色七寶、鈕 金橘、葉莖 葉緑色七寶、實 淡緑色七寶、環 金小型楕圓、綬幅 三・七センチ、織地 淡紫色「文化勲章圖ハ略ス」「文化勲章綬ハ略ス」文化勲章略綬 淡紫色綬一センチ圖ノ如キ同色ノ翼ヲ附ス「圖ハ略ス」

文化勲章ハ綬ヲ以テ胸部中央ニ之ヲ佩ブ

下條賞勲局總裁謹話

【東京電話】文化勲章につき下條賞勲局總裁は十一日午後一時半謹んで感激しつゝ左の如く謹話した

文化勲章は科學藝術等我國獨特の文化創造發達御獎勵の思召によるもので文化の創造は一朝一夕のことでなく多年の大事業であるがその發展は國運の隆昌に貢獻するところも多い、從來藝術に對し叙勲なく科學方面功勞者では叙勲者はあつたがこれは文化向上に對してではなかつた、この度特にその向上に對し賜はるものでこの文化勲章には階級なく同時に宮中席次もないが單なる表彰の意味ばかりでなく別に何等か優遇の方法が考慮されるはずである、この勲章を賜はる功勞者の範圍は文化發達に關して貢獻あるもので科學上の發明、發見、學術、研究、文藝、繪畫、彫刻、建築、音樂等に關し貢獻したるもので定員がなく嚴選されるはずである

輝く劃期的榮典！

聖旨を奉戴して 文運發展に努めん

林首相謹話

【東京電話】本日紀元の佳節に當り新に文化勲章制定の勅令が公布せられ文化勲章は科學藝術等文化の發達に關しまして偉大なる貢獻をなしたるものに賜ひその勲績を賞旌せられ且つ又文化創造を御獎勵遊ばされる聖旨を以て制定せられたる褒典でございまして有難き聖慮の程拜察致し誠に恐懼に堪へない次第であります、文化の興隆は實に國運の消長に重大なる關係があるのでありましてこの方面の閑却は一日も忽諸に附することが出來ません、特に我國には古來固有の精神歷史等に基く文化があるのでありますから時勢の進歩に應じて一層その精華を發揚し內は以つて國運進展に資し外は以つて世界の文化に貢獻するところがなければならぬと思ふのであります、世界各國における文化の實情から見ましても新勲章の設けられたことは誠に時宜に叶つたものと存ずるのであります、我々は聖旨を奉戴して文運の向上發展に努力を致し以つて聖恩の萬分一にも應へ奉る樣心がくべきであると存じます

菊池寛氏談

【東京電話】國家が科學藝術等文化殊勲者を顯彰するといふことは當然なことで寧ろ遲きに過ぎると思ふが誠に結構なことであると思ふ、しかし功勲者の詮衡は事實上非常に困難な問題だから當局者はこれを誤らないことを切望する、まあ文壇でいへば幸田さん、島崎さんと云ふやうな大先輩がその選に入るのであらう

文化に對する 林內閣の認識を示す

【東京電話】賞勲局で極秘裡に立案中であつた文化勲章が公布せられ科學藝術等文化の發達に關して偉大なる貢獻をなしたものに輝く文化勲章を賜はることとなつた、文化勲章は西洋各國には早くより制定せられて居り、文化興隆が國運の消長に重大なる關係あることに鑑みて我が國にもこれが制定を要望する聲がかねてより各方面にあり前內閣時代にも平生文相より閣議席上座談的に勲章制定の提案があり考慮しようといふことになつてゐた、しかしその後一向に實現の模樣がないので結局座談だけに終つたと文藝家方面を失望させてゐたが今回の勲章は賞勲局で極秘裡に立案せられてゐたもので文部省方面でも全く之に關與してゐなかつたもので之が突如勅令として公布されるに至つたことは林內閣の文化に對する認識を明かにするものにして一般には好感を以つて迎へられやう、しかしながら運用上の點で相當難かしい問題が伴ふだらう

林首相放送演說

佳節の夕、國民に呼びかく

【東京電話】林首相は十一日の紀元の佳節に當り午後七時半永田町首相官邸總理大臣室にマイクを据ゑつけラヂオを通じて全國民に呼びかけその所信を明かにした、林首相の演說要旨左の如くである

林首相演說要旨

本日紀元の佳節に當りまして不肖林は國民諸君とゝもに謹んで寶祚の無窮と國運の隆昌を祈り奉ることを得ますことは誠に感激に堪へぬところでありますと共に私ども國民は齊しく今より二千五百九十七年前の今日、神武天皇橿原の宮に御即位の大典をあげさせられ皇祖の天業を恢弘し給ふた古を思ひ世界に無比たる我國の大精神を奉體し眞に慶賀の誠を致すことをお誓ひ申さねばならぬと存じます、私は本日宮中の嚴かな御祭典に參列するの光榮を擔ひ恭しく、賢所、皇靈殿、神殿の三殿に拜禮致し、引續き御宴に召されて優渥なる勅語を賜りいよいよ感激を深く致した次第であります、即ち私は今回はからずも組閣の大命を拜しまして時難克服の重任を擔ふすることとなりました、私は武人として既に四十餘年の御奉公を致したものでありますが一般政務に携はりますとは今回が始めてであります、つらつら宇內の情勢を大觀致しまするに洋の東西を問はず到るところ利害により對立相剋を現出せんとしてをるのであります、斯の如きは「八紘ヲ掩ヒテ宇ト爲サム」と仰せられましたあの神武天皇の御精神即ち國家も世界もあたかも一家の如く親和し一家となるが如き秩序のもとに各そのところを得て生存發展せしめんとの

有難き御精神 とは凡そ縁遠い狀態と申さねばなりません、そもそも至誠奉公の本は大御心を奉體し我國體の本義に基き、もつてその肇國の大理想を顯現するにあることは今更申すまでもありません、現下內外の情勢に處し前申し述べたる大目的達成に當るために現內閣はその政綱と致しまして左の五項目を定め既にこれを宣言致したのでありますが新聞等で既に御承知かとも存じますが一言これを闡明致して見ます

一、國體觀念をいよいよ明徵にし敬神尊皇の大義を闡明し祭政一致の精神を發揚して國運進暢の源流を深からしめんことを期す

一、欽定憲法の條章に遵ひてわが邦の獨特なる立憲政治の發達を堅實にし、民意を察し輿論に俯き公明なる政治の運行を期す

一、國際正義に則り東亞の安定萬邦の共榮を實現せしむる目的をもつて擧國一致の外交國策を遂行し、國際關係を明朗ならしめんことを期す

一、帝國を安泰にしその興隆を確保し國是の貫徹に必須なる國防軍備を充實するとゝもに生產力の增進を計るなど國力の基礎に培はんことを期す

一、內外の經濟情勢に適應して產業の綜合的發達を希圖し保護の施設とゝもに適切なる統制を實施ししかも國民創造力の發揮、企業心の勃興を助長せんことを期す

申すまでもなく我國は皇室を宗家と仰ぎ一大家族國家でありまして

政治も經濟も その他總てのことは我々の家庭における如く和氣靄々の裡に運用經營せられもつて國際的に進展すべきものであります、庶政一新の實現には弊害を選りて因循姑息に流れることを避けるを要しますが同時に革新意識の餘り矯激度を失ふやうなことは最も戒めねばなりません、現下世相の混沌として動もすれば對立抗爭に陷らんとするの風ありますことは結局のところ全體のことを忘れて部分に捉はれ道義觀念を失つて專ら利害に趨り己を空しうして國家社會に盡さんとするの精神の乏しくなつたものであると存じます、これを革新するの道は國民が眞に內外時局の重大なるを認識し協心戮力擧國一致各自己の分を守り義勇公に報じもつて國運進展に邁進するほかありません、この點より存じまして現內閣は前述の輔翼の責をあげ精神を一新し庶政を一新し時難克服の重責を盡しもつて

聖恩の萬一 に報い奉りたいと考へて居るのであります、冀くば全國の諸君よ、私の意のあるところを諒解せられ擧國一致の御協力あらんことを切望する次第であります

佳節ニュース

【上左】朝鮮神宮における南總督【上右】本府の祝賀宴【下右】京城府の建國祭【下左】京城驛前に集合して朝鮮神宮へ向ふ鐵道局員

參拜者の大波

きのふの紀元節當日の朝鮮神宮は南總督の神社參拜獎勵が徹底して拂曉より寒節の惡天候もかまはず內鮮の參拜者が引續きさしもの神前廣場も人で埋められた、午後四時までの參拜者は總計一萬四千四百七十六人の莫大な數に上つた、しかしてこのうち團體參拜者は一萬二千九百三十七人に及び個人參拜者は一萬五百三十九人（內地人九、八五六人、朝鮮人六八三人）であつた、鐵道局員の五千人の大行進や七十八、九聯隊將兵の一糸亂れざる團體參拜など非常時色を濃厚に反映した [illegible]

南山を搖がす 皇國萬歲！

佳き日の朝鮮神宮

皇紀二千五百九十七年、紀元の佳節を壽ぐ朝鮮神宮の紀元節祭は嚴かに十一日午前九時半から阿知和宮司々祭の下に南總督を初め官民約百五十名參列、南山の緑樹に唱和する雅樂の裡を南總督、李王職長官、李鍝公、貴族代表、文官代表、武官代表久能軍參謀長、道民代表、府民代表等玉串を奉奠して嚴肅なる祭典を終り續いて正午から神宮前廣場で京城府主催の紀元節建國の大奉祝式が盛大に行はれ各學校生徒、鐵道局員、鄉軍、靑年團、愛婦、國防婦人會員ら [illegible] 列、嚴かなる國旗掲揚式、國歌の合唱、甘蔗府尹の奉祝の詞があり渡邊村知事の發聲で皇國の彌榮をこめて高らかに萬歲を三唱し奉祝式を閉ぢ神域は建國精神謳歌の一色で塗り潰され神宮參拜者は各種團體のほか個人參拜は午後一時までに一萬二千人を突破した、なほ午前十一時からは請負業會の人々の詩吟の奉納があつた

總督府拜賀式

紀元の佳節本府では午前十時から南總督は各國使臣の祝賀を受け、同卅分から高等官以上及び朝鮮貴族同卅分から判任官以上いづれも第一會議室で御眞影拜賀式を行ひ終つて中央大ホールで祝酒を酌み聖壽萬歲を奉唱した

デ杯日本代表

山岸、西村、中村三選手

【東京電話】昭和十二年度デ杯戰日本代表選手はかねて日本庭球協會において詮衡を續けてゐたが十一日午後次の如く決定、勝田監督の名をもつて發表された

主將 山岸 二郎（慶應）

西村 秀雄（稲門）

中村 文照（法政）

修正豫算案

けふ閣議で決定

【東京電話】政府は昭和十二年度豫算の修正につき十日の閣議において大體結城藏相の節減方針を各閣僚とも容認し大綱の決定を見たが何ほ議會に具體案を提出するためには種々手續上の問題を殘し難航十一日より議會再開の運びに至らないので更に十一日より四日間議會休會を奏請する一方同日の閣議において決定を見た大綱に基き同夜から十一日にかけ大藏省主計局と各省事務當局の間に右折衝を遂げ各省外地豫算修正についても關係當局間に檢討を行つて大體十一日中には一般特別兩豫算とも目鼻をつけることとなつた、よつて大藏省はこの結果により計數整理を行ひ十二日の閣議において稅制整理修正案と共に最後的決定をなし直に議會に提出する準備を整へると共に結城藏相の財政演說にこれを織込み結城財政の方向を宣明することはずである

本社の拜賀式

紀元の佳節、京城日報社、每日申報社、セウルプレス社では十一日午前十時から本社來賓閣で全社員參列の上嚴かに紀元節拜賀式を擧行、終つて高田社長の發聲で兩陛下の萬歲を三唱、それより社員一同朝鮮神宮に參拜した

三橋警務局長出發

三橋警務局長は冬の國境警備陣を慰問激勵するため十一日午後十一時京城發惠山鎭に向つた

◇安田京北警察部長 十一日午後七時入城、本町ホテル

◇兵頭慶南道警察部長 十日午後一時入城、本町ホテル

けふの天氣

晴れたり曇つたり

國境第一線の護りに
手不足な警備陣
危まれる警官増員の實現
一人三人前の仕事を覺悟

【羅南】本年咸北警察官の増員については かねて道警察部から咸北の特異性を具陳本府に要求し、本府では各道の要求を一括、大體全鮮に九百名を増員すべく新豫算に計上してゐるが現下政局の動向から右豫算案の成否を危まれ果して どの程度の容認を見るか豫測を許さない狀態である、現在道内警察官は警察部以下管内警察署二十ヶ署、龍井、琿春派遣員を合せて部長以下警視警部補巡査總勢ざつと千六百名で鮮滿國境第一線を護る外事高等警備事務はいふに及ばず咸北諸機關の劃期的大飛躍に伴ひ道内諸企業の勃興、新興都市の都計實施、南部三郡の思想對策、或は鮮滿一如の大方針に基く滿洲方面との連絡協調等々益々複雑多岐を極め到底現狀をもつてはこれら新情勢に順應することは至難でこれが對策につき警察部では惱んでゐる、右に關し筒井警察部長は左の如く語る

國境第一線といふと唯單に國境線一帶とのみ考へてゐるが對鮮關係に就き一朝有事の際を考へると咸北一帶全地が第一線である、現下の時局を通觀する時、我咸北ほど重要性を帶びた土地は他にあるまいこの重要地點に職を奉ずる吾人警察官の職務は重大で到底安逸は許されないと共に一人で三人分も働くといふ覺悟が肝要である、だが人力には自ら限りがある、昨今のやうな道内諸般の情勢では到底これに順應して行くとは至難で幾多勤務員の辛酸に對しても何とか緩和策を講じ警察陣の擴充を圖り、もつて道内治安の萬全を期したいと思ふ、新年度或は急激な増員は認められないかも知れないが、咸北の特異性は漸次本府或は中央方面にも認識諒解されることと思ふから將來を期して唯一意本分に邁進したいと思ふ

僅か五厘足らずの
紙一枚でも節約
物價高と戰ふ新義州府廳
さすがは〝節約府尹〟

【新義州】物價騰貴と節約はつき物のだが、殊に豫算で縛られてゐる御役所の消耗品は一割から四割にのぼる高騰で費目の上にピンと響き、平北道廳をはじめ各官廳では節約に大童となつてゐるが、日頃節約と質素で有名な新義州府廳では栗つ鼠服府尹村上さんの音頭とりよろしく物價騰貴も何のその とばかり落着きを見せてゐたが、グン〳〵と昇る物價高には流石に困つたらしく十日「兩面罫紙一枚反古にすればその損は三厘三毛」といふ節約府尹にふさはしい數字を明示して、美濃和白紙一枚約四厘、美濃全罫紙一枚五厘五毛、タイプライター紙一枚一厘五毛、告知書四厘と事務上の各用紙の一枚の單價を表示して職員一同の徹底的節約策を講ずることになつた

國境警備陣スナップ
見送る勇士は吹雪に霞む……

【羅南】もの凄い吹雪の朝だ、對岸の山々は雪に霞んで無氣味な暗示をさへてゐる「いつてらつしやい」いたいけなわが子の聲に送られて、國境線死守の重大使命を一挺の銃劍に托し勇者達は雪んで江岸警備へ……可愛らしいおてゝに振られた、日の丸の旗が吹雪にゆれてゐる（會寧警察署管下）

とんだ黑鼠
壁を破つて
四十圓失敬

【定平】去る九日午前三時ごろ市内長興里精米所方の押入の中でガサ〳〵異樣な物音がしたが、家人は鼠の惡戲と默つてゐたところ朝起きて押入の中を見ると裏壁に穴があいて手提金庫の蓋が開いてをり、入れてあつた現金四十圓をまんまと盜まれてゐるのでびつくりして定平署へ屆出た

檢事の前では
犯行を否認
清州江外面の強盜
竊盜罪だけで起訴

【清州】既報、客臘二十七日午前四時頃、清州郡江外面蓮場里朴龍來方に侵入して使人主人を叩き起してナイフを突きつけ現金十一圓餘を強奪した犯人、忠南燕岐郡全東面石谷里農業金士成（三〇）に對する強盜事件は清州法院支廳檢事分局で取調への結果強盜を働いて逃走途中同面止中里朴鳳根方に侵入して飯用内の唐辛子二斗五升時價二圓五十錢位を竊取した事實は犯人も素直に自白したが前記強盜事實は極力否認し續け、有力な證據もないので係檢事は竊盜事實だけを取り上げて去る八日、同人を住居侵入竊盜罪で起訴した

ところが清州警察署の取調べでは同人が強盜事實を逐一自白してゐるし第一金を使つてゐるがその出所も強盜で稼いだものであることが明かであり、しかも實地檢證の際にも犯人として被害者の申立てがぴつたり符合してゐるので署當局としては同人が眞犯人なりとの絶對信念をもつて送局したものであるが檢事局では同人の否認は別として第一證據が不充分なりとし微妙な點で見解を異にしてゐる、しかして檢事局としては同強盜事件犯人は未逮捕といふことにするらしく或は署當局へ新な指揮を下すかも知れないが署當局としては飽くまで同人が眞犯人なりとの信念を堅持するだらうから同事件が如何に解決されるかその成行は注目される

流氷ほんの僅かで
寧ろ拍子拔け
商議が繰出した調査員
恰も半日船遊び

鎭南浦港口　異狀なし

【鎭南浦】既報ＢＫの流水放送、朝鮮郵船の定期船令航路休航等に神經を尖らした商工會議所では税關の應援を得て十日流氷調査を行つた、一行は會議所關係と船會社關係での他有志三十數名、十時半碎氷船鎭南丸で江口に向つた、流氷極めて少く時々出喰はす氷群も三、四寸前後の軟弱なもので船足に些かの障りもなく下流廿三哩の姉妹島燈臺まで一時間三十五分を要したのみ、歸路は北水道を迂回して二十七哩この間にも流氷極めて少く僅か二時間四十五分を要し三時歸着した

豫期してゐたことではあつたが案外に少い流水に一同かへつて拍子拔けといつた態で船中談論百出し半日を船遊びかの感を抱かしめた

凍らぬ姉妹島
鎭南丸の訪れに
島守り達は大喜び

下流二十三哩姉妹島燈臺——例年であれば嚴氷をかぶる島岸の岩礁は、すつかり厚氷に包まれ大岸壁を現出し島に近寄れぬため、陸地との交通は完全に三ヶ月間杜絶し島守りの人達は島近くを通ふ汽船

南丸が島前に投錨すると、島では時ならぬ訪問客に大喜びで燈臺から飛び出した人達が儀へと驅け下りてくる、子供を負んぶした婦人連も、生盛面に走つてゐる、間もなく島から船が漕ぎ寄せられ久しいつかしさに輝いてゐる島守りの顔が飛び込んでくる、冬中の苦勞を慰め勵ます聲、海員俱樂部からの慰問品が配けられる、僅か十分の間に盡きぬ言葉を交し、嚴に立つて子供や婦人がちぎれよと打振る白赤の旗に送られつゝ鎭南丸は一路北水道へ向つた

地方効績者の表彰
大竹内務局長語る

本年紀元の佳節に當り朝鮮地方行政の効績者として朝鮮總督より忠淸南道保寧郡大川面長沈相台、全羅南道高興郡占岩面長洪珍休、咸鏡南道咸州山陽學校組合管理者杉山龍次郎の三氏が表彰せられました、顧みまするに大正十五年以來本府に於て紀元節の佳き日をトして地方行政の効績者を表彰致しますること既に五回本年は第六回目に相當するのでありますが本府が地方行政の効績者を表彰致しまする

所以 は申す迄もなく特に地方行政の重要性に鑑み公職者の使命を尊重して其の活動に依り一般民衆を指導誘掖して地方行政の圓滿なる發展を所期せんとするに外ならぬのであります、今回選奬の榮を擔はれた三氏は何れも地方行政の揺籃時代に於て公職に就かれ多年第一線に事務の整理刷新、教育、産業、土木、交通、衛生の普及改善、美風良俗の作興、民心の融和等に力を致され至誠以て一郷の興隆に盡瘁せられると共に地方行政を今日の發達せる狀態に高めることに貢獻せられた

恩人 でありまして其の發群の功績は誠に他の模範とするに足るものと信ずるのであります、惟ふに新政施行以來茲に二十有七年、地方行政は著しく進展を遂げ其の面目を一新するに至りましたのは御同慶に堪へません、是れ固より上　御聖德の然らしむる所でありますが一は今回選奬せられたる三氏を始め公職を奉ずる方々の

至誠 と努力の賜と言はなければなりません、翻つて考へまするにこの表彰たるや表彰せられたる方々の一身以て公に奉ぜられた効績に對するものでありそれ等の方々の榮譽であることは言ふまでもありませんがそれと同時にこれ等の優れたる指導者と共に一郷の治績に協力せられた一般民衆の榮譽を表彰することにもなると存ずるのであります、この表彰を機とし選奬の榮を擔はれた方々は勿論公職者並に一般

民衆 に於かれてもこの表彰の意義を深く心に留められて益々加餐自重せられ協力一致地方行政の爲將又郷黨の榮譽發揚の爲努力せられんことを切望して已まない次第であります

前途なほ遼遠
景山農振課長談

本日紀元の佳節を卜し既報の如く總督閣下より農山漁村振興に關する効績顯著なる第一線の指導者二十六人、更生指導部落中堅人物二十六人を表彰せられ尚又更生計畫の實施成績優良なる指導農家二十六戸に對し助成金を下附せられました、今回選奬の榮を荷はれた各位は何れも農山漁村の振興或は農山漁家の更生に終始一貫不斷の努力を拂はれ克く今日の成果を擧げられたのでありまして其の間の御心勞と御精勵とに對し深く敬意を表する次第であります（中略）本年は昭和八年更生計畫を樹立した第一次指導農家が第一期計畫を完了する意義深き年に當つて居りますが農山漁村が眞に更生の實を擧ぐるには尚前途未だ遼遠でありまして各機關は一層緊密協調の度を高め更に一段の努力を傾倒せねばならぬと痛感致して居ります、今回總督閣下から選奬の榮を荷はれた面、警察、學校、金融組合等の指導者、部落中堅青年各位（中略）又更生の實績優良なりとして助成の恩典を蒙られた農家に於かれては一層奮勵努力有終の美果を收められて本日の榮譽を一段と光輝あらしめられんことを御願ひして止まざる次第であります茲に今回の選奬に際し聊か所懷を陳べて大方の清鑑を俟ち今後一層の御努力御鞭撻の程を冀望致します

小刀で
突き刺す
數時間後に
犯人を逮捕

【平壤電話】中和署歳年末特別警戒中のスピード逮捕——中和郡楊井面古巖里尹頑驥（三〇）は九日午後七時頃同里飲食店で友人五人と飲酒した後逃路にあたる尹宣鉉（二〇）方を訪れて口論をはじめ手近に果物をむくためにおいてあつた刃渡り三寸許りの小刀で相被の左乳下心臟部を突き刺し逃走した、家人は附近の醫師を迎へ被害者に手當を加へる一方中和署楊井面駐在所に急報したが同署歳末特別警戒で緊張し切つてゐた折柄とて同夜十時頃同面友人宅に潜伏中の加害者尹龍驥を逮捕して駐在所に引きあげた、なほ被害者は重傷で生命危篤である

押入裏壁を
破つて侵入
數時間で犯人逮捕
水原署近來の手柄

【水原】去る七日夜邑内長安町石源尚七氏方の温突の押入の壁を外部から刃物で切り破り押入内にあつた現金七十圓と餅とを窃取されてゐるのを八日朝發見、水原署新野刑事部長が現場を檢證の上かねて素行内査中の邑内迎華里一五三勞働者康老成（二四）を容疑者として引致取調べたが頑強に否認、その申立に不審の點があるので呉司法主任は部下を指揮して同人の家宅捜索を行つたところ屋根の藁中に現金七十圓と煙草、餅其他多數の贓品を發見したので嚴重追及の結果遂に犯行を自白するに至り、なほ餘罪多數の見込で目下取調べ中であるが届出後數時間を出でずして犯人を檢擧したのは水原署近來の大手柄である

產業技手打合會

【清州】道では三月中旬、郡畜産關係產業技手打合會を開催する筈で打合事項は養豚改良增殖計畫更新、肉豚及び鷄卵の出荷、養兎奬勵、肥育牛品評會開催、金融組合耕牛貸付等

清州校母姉會

【清州】小學校では十日午前十時から母姉會を開催、授業參觀、活動寫眞の映寫、山守校長以下職員のお話等があつた

昇段大手合戰譜　日本棋院
（2）

四段　中村勇太郎（先相先 先番）三段　小泉重郎

對局者の言葉

（白）十六で右邊の割打ちも相當なのですが、黑「ち十六」又は「ち十七」にツメられると「ぬ十四」にトバねばならず、次ぎに黑「わ十三」と打たれるやうな事になれば、自然左上方面の纏まり工合に影響して來さうなので——譜のやうに十六とツメてゐると後に「を十四」の方面から此黑を攻める事が出來ます

（黑）十七は「に十」に一路高く打つ方が合理的でせう中の棋ですから——

（白）十八は疑問ですが、今度こゝへ黑に一間トビされるのが嫌らぬ好點なので——

然し此の十八で「を十四」邊に迫り、黑「る十五」白「り十四」黑「る十四」白「を十三」と運ぶやうなのがよかつたかも知れません

（黑）十九のツケ引きは打たなくないのですが、根據がないと打ち切れないやうに思ひましたので

（黑）二三がどんなものでしたか、こゝを打つ位ならば、右邊「に十三」に備へる方が優つてゐたのでせう

（白）二四のノゾキ一本だけは差支へないのですが、二六では「に八」にケイマして黑の動き工合を見るべきでした

譜の如く二六以下こゝを詰きに行つたのは、明らかにその時機でなかつた

單に二四を利かしただけでは問題になりません

評解
五段　福田正義

○白十六と第四線に於ける二間ビも、新布石法以來屢々打出されてゐるが、氣分としては此の場合「を十三」の方面より着手し、黑「る十五」を促がして「ぬ十三」とトンで行きたい

但し棋勢を急迫ならしめる惧れは多分にあるから、此點に留意を要する

●黑十七の大場先占を非難しがたいが、此手では「わ十三」にトオで十三、十五の二子への白の彈壓に備へるのが正しい

○白十八のボーシは、見當としては首肯出來るが、此手で對局者のいふ如く「を十四」に迫り、黑「る十五」白「り十四」の調子を求むべきである

●黑十九、二一のツケ引きは保留し、前述の如く單に「わ十三」又は「を十四」に一手補ふのが手厚いであらう

●黑二三に至つても勿論「わ十三」又は「を十四」の二者での一を擇ぶべきである

○白二四では「わ十三」の方面より十三以下の黑を脅かし、併せて左上方面の模樣形成に力むべきである

譜の黑三五までの殆んど味なく二四以下の石を取り切られたのは序盤に於ける白の一大蹉跌と見られる

白二四を利かせる爲めの犧牲としては大に過ぎるであらう

（制限時間各八時間）

所要時間（一分以内は切捨）　累計（白 一・四）（黑 三・一八）

花に濃淡あり〔113〕

片岡鐵兵作　一本弴畫

親の悲しみ（四）

やがて最前の女中が出て來て、
「どうぞこちらへ」
と、瀧子夫人を病室に案内した。
襖をあけて、彼女は思はずアッと叫んだまま、そこに棒のやうになつてしまつた。
寢床の上に坐つてゐた晶枝も、驚きは同じだつた。
「失禮を――」
瀧子夫人はキラリと輝いた晶枝の眼を見ただけで、襖をしめ、女中を顧みた。
「あたしは大場ですの。瀧子を訪ねて來たのですが」
激しい見幕だつた。またも我が家の女中をきめつけるやうな調子だ。
女中は譯が分らず、おど／＼した。
「あの、違ひましたのでございませうか」
「大場瀧子といふ人、お宅にゐないのでせうか、娘は？」
それにしても晶枝が何故この家に寢てゐるのか、いぶかしかつたが、娘のことが心配で、そんなことを訊いてる暇はないのだつた。
「他には、誰方もゐらつしやいません」
「居ない？」
と夫人はぎよつとした。
娘は何處に行つたのだ？
「でも、梅本さんは、確に瀧子はこちら様に御厄介になつてるやうに云つてらしつたんですがね」
「わたくしは、つい近頃參りましたものでございますから」
「瀧子といふ娘について、梅本さんから何も聞いてゐないんですか」
「はア」

これでは際限があかぬ。瀧子はいら／＼してもう一度襖をあけて、晶枝の部屋に入つて行つた。
晶枝は平靜に返つてゐた。いつか大場の宅へ掛合ひに行つた時、瀧子の顏は見知つてゐるのだ。あの人が今日ここへ現れたのは、瀧子を搜しに來たのに決つてゐる。
しかし、瀧子の行方をこの人に告げるべきか、どうか、たづねられたらどう答へようかと、このとつさの場合、まだ晶枝の考へはまとまらないのだつた。
「いつぞやは――」
と瀧子はいやに丁寧にお辭儀するのだ。晶枝もつゝましく、
「あたしこそ……」

「まア此處にあなたがゐらしやつたとは、少しも存じませんでした」
と、じつと病みやつれた相手に目を注ぎながら、年とつた女は云つたが、人の娘のことよりも自分の娘のことが氣になつて、皮肉もゆつくり云へないのが残念ながら口惜しいのに違ひない。そはそはとして、彼女は言葉をつゞけた。
「あたしは瀧子に至急會ひたいのですが、今どこに居ますか、あなた、御存じありませんの？瀧子の事、あなたは梅本さんからお聽きになつてよく御存じだと存じますが」
この娘の前で、自分の娘の恥をさらすやうな言葉を出して、こんな事は云ひたくはないのだつた。だが、さうした恥を忍んでも、はつきり瀧子の行方を突きとめないでは、恐ろしい不安をしづめることが出來ない。
「ほんとに心配させるです。晶枝さんはしつかりしてらつしやるから、お母さまも御安心でせうけどねえ」

老人は、いまいましさを押し殺して、晶枝の機嫌をとるやうな顔さへ云ふのである。
晶枝はじつと考へ込んでゐた。

10DK　ラヂオのプロ

十二日（金）

第一放送

午前七時一分（東）基礎英語講座
同七時三〇分（東）朝の修養
同七時五一分（東）ラヂオ體操
同八時一〇分　今日の天氣見込
同九時（東）家庭メモ
同九時一〇分　氣象通報
同九時一五分　氣象通報・料理獻立
同一〇時（京）伏見稻荷初午祭（官幣大社稻荷神社神殿より中繼）—京都市伏見官幣大社稻荷神社神殿より中繼—　擔當アナウンサー　小澤　協
同一〇時三〇分（東）家庭講座　京漬とその說明者　木下謙次郎
正午（東）時報・日用品値段・鮮魚卸値段
午後零時五分（城）琵琶　礎の菊　松濱　旭勝
同零時三〇分（東）國民歌謠　むかしの仲間　獨唱　奥田良三　ピアノ伴奏　林　良夫
同零時四〇分　ニュース
同一時一五分　婦人の時間（朝鮮語・茶山）敬老と女性の品位　尹聖相
同二時（東）婦人講座　箏のお稽古（十）
同三時一〇分（東）教師の時間　最近の視聽情況について　安藤得世
同三時四〇分（東）氣象通報　ニュース（氣象通報・證券）
同四時　ニュース（氣象通報・證山）
同六時（東）ラヂオスケッチ　初午の日　波原茂雄・作（テキスト二八ページ）　木馬童話劇研究會
同六時二〇分（東）コドモの新聞
同六時二五分（城）副業講座（第六回）テキスト　副業奥村
同六時五五分（東）カレントトピックス　總督府囑託　八尋生男
同七時・ニュース・天氣見込　職業紹介
同七時三〇分（東）趣味講話　古代の船　文學博士　西村眞次
同八時（東）音樂　日本放送交響樂團　指揮レオニード・クロイツアー　交響曲　驚愕長調　モーツアルト作曲　第一樂章　アダヂオ・アレグロ　第二樂章　アンダンテ　第三樂章　メヌエット　第四樂章　アレグロ
同八時三〇分（大）遊子　僕の退屈　深田繁子　鹿島洋々
同八時五〇分（東）浪花節連夜二題（第一夜）慶安太平記　牧野彌右衛門　木村重勝
同九時三〇分（東）時報・ニュース・氣象通報・地方へのニュース・翌日の番組
同一〇時　ニュース（朝鮮語・證山）

第二放送

午後零時五分　京城音頭

けふは初午　ラヂオスケッチです

待つてゐなさい

初午の日

波原茂雄・作　木馬童話劇研究會

今日は初午です、お稻荷様からは賑やかな太鼓の音でお囃子が御流して來ます、子供達の嬉しさうな笑ひごゑ！それとも、隣に座つて聽いて泣いてゐます、お姉さんはお人形を抱いて來ます。目出度い日に何處から泥棒が入つたといふのでせう。面白い初午の日のスケッチ！何卒この日の放送をお樂しみにお待ち下さい

浪花節（第一夜）

慶安太平記　牧野彌右衛門

木村重勝

牛込榎町に住む由比民部之助正雪が小野次郎右衛門と論次八藏二人の家來を連れて飯田町鍋屋坂に登る途、下谷稻荷町にさしかゝると、黑山のやうな人だかり、中をのぞくと三十歳位の浪人體の者が、毒をうたつて投げ錢をもらつてゐる。それを聞いて何か心に入つたものか、屋敷に連れて歸り、酒を飲ませて事情をたづねると、この浪人は越後新發田十二萬三千石牧野備前守の一門末席の長男彌右衛門といひ、幼い時に母を失ひ、その後繼母にいぢめられて家を飛出し、關東に流れて來たけれども頼るところがないまゝに、乞食の群に入り、方郷宗二太夫の配下となつて盛り場で投げ錢を乞ふて露命をつないでゐると物語る、聞いた正雪は幸ひ自分は紀州家に出入りしてゐるから、世話してあげよう、劍術をつかふか、馬に乘れるかと問ふが、どちらも出來ません、算盤なら少々と答へる、では仕方がないが、勘定方にでも世話しよう、今夜は歸つて郷宗二太夫に斷つてきなさいといふ、彌右衛門が正雪のもとを辭して、日も暮れたなかを酒機嫌で本郷菊坂に差しかゝると不意に三人の曲者に取り圍まれた、彼等は正雪の家來であつてこゝで彌右衛門の本當の腕前を試すといふ一段

あすの番組

十三日（土）

午前一〇時三〇分（城）家庭講座　受驗兒童の御家庭へ　藤好虎秀
午後零時五分（東）謠曲　出る姫さんのために（一）　東京府職業紹介所長　豐原又男
同六時（大）幼兒へのお話　みのむし
同六時一五分（東）趣味講座　古人の歩いた劍道　吉川英治
同七時三〇分（大）義太夫　堀川夜討　竹本源路太夫外
同八時（東）歌謠曲
同八時二〇分（大）浪花節連夜二題　名匠左甚五郎　廣澤虎吉
同一時一五分　婦人の時間　李命貞　尹景摂
同六時　兒童と先生の時間（第二回）京城師範附屬普校
同六時三〇分　國語復習　市川　榮三
同七時三〇分　趣味講演　崔南善
同八時（東）音樂
同八時三〇分　脚本朗讀　申不出
同九時一〇分　流行歌

第七局

一當代一流　爭霸血戰譜

香落　〇六段　塚田正夫
　　　●四段　志澤春吉

圖は…前回指了迄の局面

「駒持」〇塚田氏　歩歩香
「駒持」●志澤氏　飛桂歩歩歩歩

〇七六歩2
●八八玉3
〇六六歩5
●五八銀
〇三八銀
●六六金
〇六四香3
●六五歩4
〇同　香
●三九歩2

持時間各九時間　累計　〇塚田氏　五時間卅八分　●志澤氏　五時間卅分

解說問答

Ａ「下手方五八銀は穩やかに六八歩ではどうであつたらう」
Ａ「それでは四八馬と引かれ四六銀なら四七馬と當てられて問題にならない、又六八歩を六八金では矢張り四八馬で壞滅に陷る」

觀戰記

六段　飯塚勘一郎

勝負に油斷は禁物

塚田君は局勢有利と悟つてか、何處かにある柔かい餘裕がその身邊に漂よつてゐるが、勝敗はまだこれからだ如何に有利な將棋でも一手の弛緩からどんなに逆轉せぬとも限らぬ、そこが勝負の面白い處、志澤君は苦境沈滴して何んとか反撃の旗を擧げようとしてゐるけれど、彼の間斷ない攻擊にその餘裕がない、防戰又防戰、即ち敵の六四香に六五歩、同香と取らし、三九歩、打つたのは手筋で、上手六六香なら三八歩、六九香成、同銀で次ぎ七四桂等の逆襲があり、又三七馬なら六五金で形勢逆轉となる、サア塚田君此處をどう指す？

阿波共同汽船出帆

威海衛、芝罘、大連、天津行
鎭南浦、大連、天津行
代理店　仁川海岸町　野口商會

大阪商船出帆

大阪商船株式會社京城支店

朝鮮郵船定期出帆

乘客貨物御申込は各代理店

尼崎汽船出帆

高杉商店回漕部